

**ニフティ×美人時計×デジタルサイネージ推進プロジェクト**  
**『感字』美人・美男」をデジタルサイネージ上で展開**  
**～駅ごとに異なる動画を再生し、視聴効果を測定～**  
<http://word.nifty.com/pc/bijin/>

ニフティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：今村 隆、以下ニフティ）、株式会社美人時計（本社：東京都渋谷区、代表取締役：田中 慎也、以下美人時計）と、デジタルサイネージ推進プロジェクト（首都圏の鉄道および鉄道系ハウスエージェンシー11社で構成）は、本日12月9日（木）から、『感字』美人・美男」を期間限定で展開します。

『感字』美人・美男」は、本コンテンツに登場する美人・美男自身の1年を振り返って感じたことを漢字1文字で表した“感字”と、ニフティが12月7日（火）に発表した「2010年の“感字”（注1）」を掲載するコンテンツで、特設サイトとデジタルサイネージ、「美人時計（注2）」の常設サイトで展開します。『感字』美人・美男」の概要は以下の通りです。

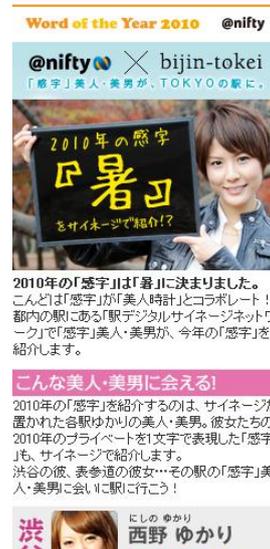
■特設サイトでの展開

本日12月9日（木）から12月31日（金）まで公開する特設サイトでは、「美人・美男の顔写真」「“感字”を選んだエピソード」「2010年の“感字”」を公開します。特設サイトは、携帯電話向けサイトでも展開します。

○[PC向け]特設サイトイメージ



○[携帯電話向け]特設サイトイメージ



○アドレス

[PC向け] <http://word.nifty.com/pc/bijin/>

[携帯電話向け] <http://word.nifty.com/m/i/bijin/>

■デジタルサイネージでの展開

12月20日（月）から12月31日（金）の12日間、新宿、渋谷、品川などの首都圏11鉄道20駅に27台設置されている「駅デジタルサイネージネットワーク（注3）」にて、「駅ごとに異なる美人・美男の顔写真」「登場人物一人一人の1年を振り返って感じた“感字”」「2010年の“感字”」を表示します。

○デジタルサイネージでの表示イメージ



デジタルサイネージ設置場所の詳細は以下のアドレスから確認できます。

(<http://www.eki-digitalsignage.net/media/>)

■「美人時計」サイトでの展開

14:00 から 14:59 の間、「美人時計」サイト内にある「bijin-tokei」と「binan-tokei」にて、「美人・美男の顔写真」「2010年の“感字”」を時計として楽しめます。

○美人時計サイト内での表示イメージ



○アドレス

<http://www.bijint.com/> ※PCのみ

ニフティ、美人時計、デジタルサイネージ推進プロジェクトは、今回の取り組みにより、WEB 上のコンテンツをデジタルサイネージ上に展開した場合の効果測定を行うとともに、駅ごとに異なる内容を表示した場合の利用者の視聴傾向を測定することで、広がりを見せるデジタルサイネージの特長を活かした施策を、それぞれ検討していきます。

注 1) 「2010 年の“感字”」

“感字”とは、生活者自身が個人の視点で、その年を振り返って感じた 1 文字の漢字のことで、2010 年にニフティが商標登録。ニフティは、2010 年の“感字”を WEB 上で募集し、2010 年 12 月 7 日（火）に「Word of the Year 2010 ～あなたが選ぶ、2010 年の“感字”～」にて発表。投稿総数 2,661 件の中から、2010 年を代表する“感字”として「暑」が選ばれた。

注 2) 「美人時計」

“bijin-tokei であなたは 1 分間の恋をする。”がキャッチコピーの「美人時計」は昨年 1 月に開設したウェブサイトで、ウェブだけでなく Yahoo!や Google のガジェット、ブログパーツ、mixi アプリとしても配布を行い、各ガジェットランキングでも 1 位を獲得するなど、毎日多くの方にダウンロードされている人気のコンテンツです。美人時計全体の月間 PV 数は 3 億を超えています。今後は美人時計の全国展開を目指し、各地方版の美人時計を順次リリース予定です。

注 3) 「駅デジタルサイネージネットワーク」

駅デジタルサイネージネットワークとは、首都圏の鉄道および鉄道系ハウスエージェンシー 11 社で構成されるデジタルサイネージ推進プロジェクトが、共同企画・配信する、駅ナカのデジタルサイネージのモデル確立を目指す実証実験メディアです。2010 年 6 月から 1 年間、各鉄道会社のご協力を得て、首都圏の主要駅に共通デザインのモニターを設置（20 駅 27 台 ※一部既存設置機）し、効果的な広告表現およびコンテンツ、販売方法の試行展開を行い、顔認識システムの活用により、その効果測定を行う等、流動ある駅構内に適した次世代型デジタルサイネージ広告メディアの可能性を検証しています。同プロジェクトでは、販売・編成（制作）・配信・効果測定を一元的に行うことで、デジタルメディアの特徴を生かした、リアルタイム性の高い、フレキシブルな対応を実現しています。

※デジタルサイネージ推進プロジェクト構成メンバー（11 社：五十音順）

(株)小田急エージェンシー、(株)京王エージェンシー、(株)京急アドエンタープライズ、(株)京成エージェンシー、(株)ジェイアール東日本企画、西武鉄道(株)、  
(株)東急エージェンシー、東京都交通局、東武鉄道(株)、  
(株)メトロアドエージェンシー、(株)モノレールエージェンシー

以上